

情報システム学会春講演会 2025 開催報告書

情報システム学会春講演会 2025 は、セキュリティの専門家お二人に登壇いただき、以下のとおりご講演をいただきました。

日時：2025 年 3 月 8 日(土) 13:00～16:00

実施方法：対面のみ

場所：青山学院大学 青山キャンパス 総研ビル 19 会議室（14 号館 11 階）

講演 1

講師：高嶋 朗子氏 株式会社ブロード 海外業務部 ディレクター および 株式会社グローバルソフトウェアネットワーク COO 兼務

テーマ：サイバー攻撃表面对策はディフェンスからオフenseに。AI や LLM など 2025 年の注目トピック、傾向と合わせ、システムセキュリティ概念の過去、未来を振り返る

講演 2

講師：内田 勝也氏 情報セキュリティ大学院大学 名誉教授

テーマ：【セキュリティ心理学】を考える ～端末利用者を対象にしたセキュリティ対策～

当日は 21 名が参加しました。

高嶋様のご講演では、AI 技術の進化や多様化するシステム環境下でサイバー攻撃が拡大しており、従来の対策では限界が生じている中、個人情報保護やビジネスのレジリエンス維持やサイバーセキュリティ強化の方策についてご講義いただきました。欧米の注目領域や日本の現状を踏まえ、技術と人間の知見を活用した実現可能な対策を考察する内容でした。

内田様のご講演では、人間の行動パターンやセキュリティ攻撃者・被害者の心理に着眼し、直接コンピュータに関係ない事案も含め、最近発生したいくつかの事件・事故に関する考察を非技術的な観点からご講義いただきました。端末利用者を対象としたセキュリティ対策は事前対策が大切であり、他分野を含めて対策を考えることが重要になるとの内容でした。

生成 AI の発展に伴いサイバーセキュリティ攻撃が高度化・多様化する中、従来のセキュリティ対策だけでは不十分な状況になりつつあります。情報システム学会ではこれまで、生成 AI の発展に伴う社会の変化や対応について議論を重ねてきましたが、ゼロトラストを始めとするセキュリティ技術動向や、認知心理学や行動経済学のような人間行動の視点も取り入れ、新たな脅威にどのように立ち向かっていくべきか、対策や研究を重ねていきたいと考えます。

